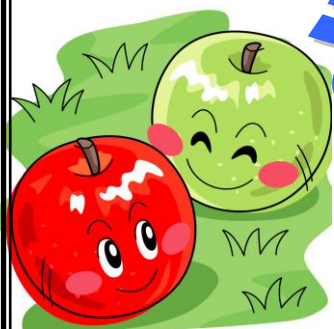


普及センター

もいおか



第117号平成24年2月23日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

今年度のおもな表彰事業者のご紹介

【全国表彰】

- 第41回日本農業賞 集団組織の部 大賞 いわて中央農業協同組合りんご部会
全国で唯一、農協組織でりんごの特別栽培（岩手県基準の半分の農薬、窒素の使用回数・量とする栽培）に取り組んだことが評価されました。
- 全国麦作共励会 農林水産大臣賞 矢巾町 (農)室岡営農組合
単収311kg（県平均1.8倍）、1等比率100%で、小麦における収量・品質向上へ向けた取り組みに加え、大豆との二毛作や環境保全型農業、食育への取り組みなど総合的に高い評価を受けました。
- 第13回全国果樹技術・経営コンクール 農林水産大臣賞 滝沢村 井上美津男
りんごの低樹高化に成功し、労働力の削減に至ったこと、りんごの授粉用に「日本ミツバチ」の増殖を独学で手がけ地域のりんご授粉に十分な群数を確保したこと、地域ぐるみで交信攪乱剤を利用した殺虫剤の削減の取り組みへの中心的役割を果たしたことなどが評価されました。

【岩手県表彰】

- いわて直播米コンクール（もち部門） 最優秀賞 矢巾町 田屋巧
- 平成23年度岩手県麦作共励会 最優秀賞 矢巾町 (農)室岡営農組合
- 2011いわて純情りんごコンテスト
 - 【総合の部】 最優秀賞 いわて中央農業協同組合りんご部会都南支部B
 - 【品種の部】 最優秀賞 盛岡市 藤沢剛（ジョナゴールド）
 - 最優秀賞 盛岡市 北田正和（サンふじ）
 - 【若者の部】 奨励賞 盛岡市 熊谷勝彦（ジョナゴールド）
 - 奨励賞 盛岡市 峰崎和幸（サンふじ）



受賞された皆様おめでとうございます！！

「農家のための経営基礎講座」開催中

盛岡農業改良普及センターでは、紫波町及び紫波町農林公社と連携し、認定農業者等を対象とした「農家のための経営基礎講座」（全3回、受講生16名）を開催しています。

この講座の目的は、家族のライフステージに基づいた長期的な所得目標を把握すること、営農計画を作成し目標達成に向けた取り組み過程を明確にすることです。

第1回講座「ライフプランを作成しよう」は1月26日に、第2回講座「営農プランを作成しよう」は2月2日に開催。ライフプラン作りや営農プラン作成に取り組みました。営農プラン作成では、パソコンに自分の経営面積や労働力を入力しながら、どこを工夫すれば所得を確保できるのか真剣に考える姿がみられました。

受講生からは「悩みであった家計プランの立て方がわかった」「将来を考える機会がもててよかった」等の感想を頂いています。

第3回講座「決算書を読みこなそう」は、3月に開催する予定です。



生活設計の大切さを実感（左）

真剣に営農プランを作成する様子（右）



盛岡地方の農業農村指導士が沿岸地域で研修

去る2月13日～14日に岩手県農業農村指導士協会県中央ブロック（通称、アグリサミットもりおか）は、東日本大震災で被災した沿岸地域への支援活動に資するため、沿岸地域の農業農村指導士との意見交換等を内容とする研修会を開催しました。

当会員と沿岸地域の農業士が合同で、宮古市出崎地区産直組合の取り組みについて事例研修も行いました。

意見交換では、「人の交流には時間とお金がかかる。イベントで内陸に行くにはお金の工面が大変」、「支援する方がひとり歩きしても大変、押し付けにならないように」、「支援要請がいつでもできるような窓口を開けておいて欲しい」など本音でお話を聞くことができました。

釜石市の宝来館の女将（岩崎昭子氏）からは、「2人で1人前の仕事をこなしている状況で震災前の生活に戻れていない」とのお話を伺うこともできました。大槌町や釜石市で瓦礫の撤去作業が進んでいない状況を見たり、陸前高田市の農業青年、村上勝義氏のお話を聞いたりして、当会員は「急がずじっくり支援していくこと」の重要性を再認識し、研修報告会において仲間の会員にその想いを伝えました。



沿岸地域の農業士と合同で研修（左）

宝来館の女将と精鋭会員（右）

